

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取組みをお知らせします。

発電所長ごあいさつ

福島第二原子力発電所長の石井でございます。

原子力事故から7年近くが経過しましたが、今もなお福島県の皆さま、広く社会の皆さまに大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、あらためて心よりお詫び申し上げます。

発電所は現在、使用済燃料プールで保管している燃料を安定して冷却し続けるため、設備の維持・管理、安全確保に努めているところです。

また、緊急時への備えとして、さまざまな訓練を繰り返し行い、技術力、災害対応力の向上に力を注いでいます。

地域の皆さまとともに歩む発電所として、所員と協力企業の皆さまとが一体となり、原子力安全のさらなる向上に努めてまいりますので、本年も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



たけお
所長 石井 武生

今年も、楡葉町の天神岬で、清々しい初日の出を家族で拝み、気持ちを新たにしました。会社人生の約20年を浜通りで過ごし、子育てもしてきたこの地は、第二のふるさとです。これからも、地域のさまざまなイベントに参加させていただければと思っております。

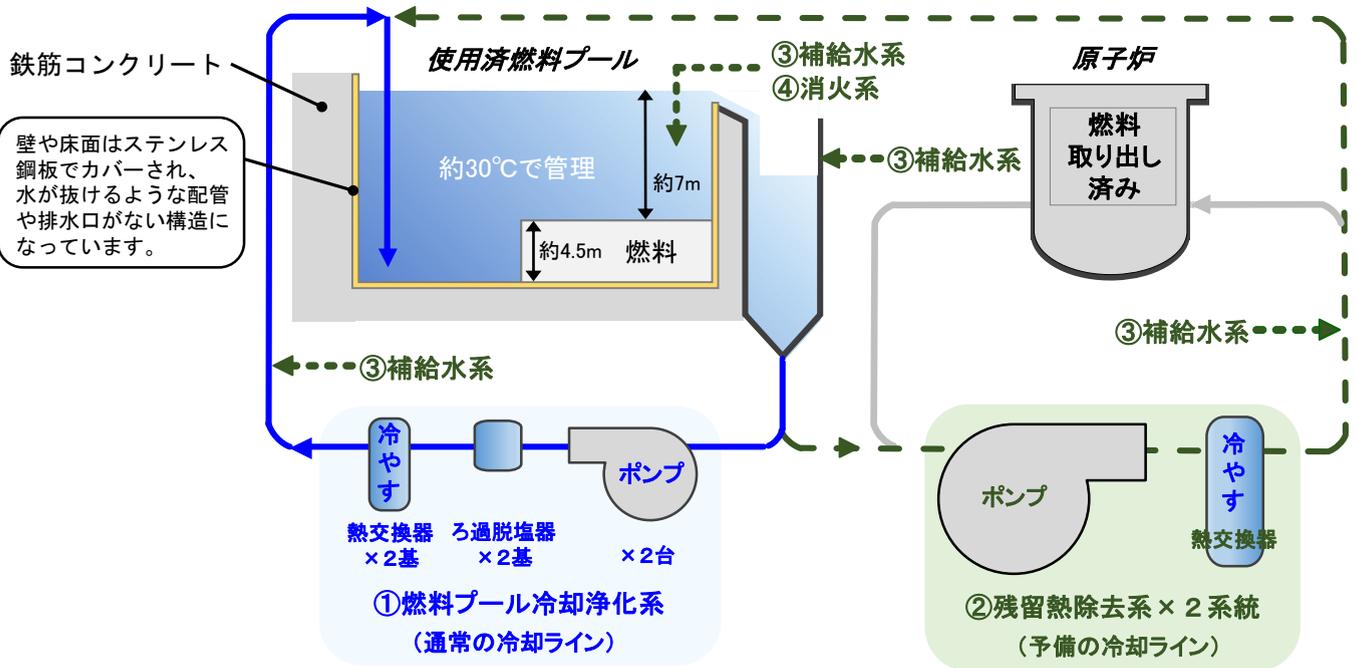


天神岬からの初日の出（楡葉町）

みなさまのご質問におこたえします

Q. 福島第二原子力発電所ではどのように燃料を冷却・保管しているの？

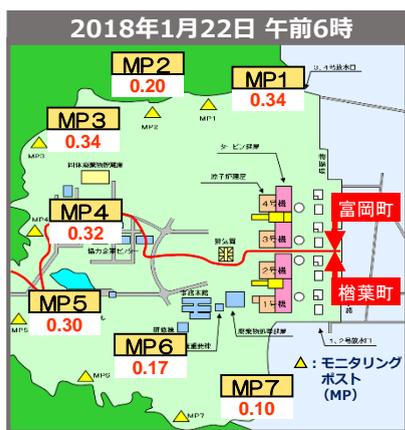
A. 全ての燃料は、1～4号機の使用済燃料プールで冷却・保管しています。プール水は常に循環冷却しており、約30℃を保つよう24時間体制で管理しています。プール水を冷やす機能として、通常の冷却ライン（①）に加え、複数の冷却手段（②～④）を確保しています。



| | 1号機 | 2号機 | 3号機 | 4号機 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 燃料の保管数 | 2,534体 | 2,482体 | 2,544体 | 2,516体 |

冷却設備が停止した場合でも、使用済燃料プールの管理上の上限温度（65℃）に達するまで約7日あるため、その間に設備の復旧や対策がとれるよう備えています。

発電所周辺の空間線量率



参考データ

原子力規制委員会
放射線モニタリング情報より
(2018年1月22日午前6時)

富岡町
文化交流センター
(富岡町役場敷地内)
0.180
マイクロシーベルト毎時

楡葉町
楡葉町役場
0.083
マイクロシーベルト毎時

■編集後記

みなさんは、この冬に富岡と楡葉で催されたイルミネーションをご覧になりましたか？

私は、仕事帰りに富岡町内（国道6号）を通るたび迎えてくれるスノーマンのやさしい灯りに癒されていました。

楡葉町（天神岬）のイルミネーションには家族で見に行きました。娘たちも「縁結び」をテーマにした色鮮やかな光にうっとりしていました。【花】



福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は引き続き燃料の安定冷却を続けてまいります。

ご質問・ご不明な点がございましたら、こちらまでお問合せ下さい。